

[序論・基本構想素案] ご意見に対する対応表

No.	項目	ご意見	事務局 当日回答	対応区分	対応内容
1	まちづくりの主要課題 ①少子高齢化への対応	「出産や子育て支援」とありますが、「妊娠」という言葉は欠かせないと思いますので、是非入れていただきたいと思います	入れる方向で持ち帰って検討をさせていただければと思います。	追記	「妊娠」の文言を追記し「妊娠や出産、子育て支援に至るまで」の文言とします。
2	まちづくりの主要課題 ④活力ある地域づくり			修正	「快適な環境を構築し」を「快適な環境や良好な景観を形成し」に文言修正します。
3	まちづくりの主要課題 ⑥環境に配慮した取り組み	途中で、「森林には国土の保全や水源の涵養、地球温暖化防止、生物多様性の保全などを防止すると」あります。保全を防止してはまずいのと、文のつながりが少し飛躍しているので見直しをお願いします。	文章が飛躍しないように注意して見直しをさせていただきたいと思います。	修正	「森林には土砂災害の防止や水源の涵養などの国土保全機能、地球温暖化防止などの地球環境保全機能、さらに、生物多様性保全機能」と文言修正します。その他、文章の構成を見直します。
4	まちづくりの主要課題 ⑦人権を尊重し、自ら取り組むまちづくり			修正	「役割を担えるよう」を「役割を担い活躍できるように」に文言修正します。
5	まちづくりの基本理念② 訪れたいくなる済み続けたい なるまちづくり			修正	「都市基盤の確保」を「美しい都市の整備」と文言修正します。
6	まちづくりの基本理念③ 市民と行政が創る安全の まちづくり			修正	「市民自らのまちづくりを支援」を「市民自ら活躍できるように支援」と文言修正します。

3. まちづくりの主要課題

本市を取り巻く社会経済情勢やまちづくり市民アンケート、市民ワークショップなど市民の声を踏まえ、本市のまちづくりの課題をまとめました。

① 少子高齢化への対応

急速な少子化と人口減少は、本市の将来を脅かすものであり、最重要課題と位置づけられるべきものです。将来においても本市が持続し、発展するためにも、これら人口問題の解消に向けた、出会いの場の創出から、安定した雇用と経済的基盤の確保、そして、**妊娠や出産**、子育て支援に至るまで、総合的な対策に取り組むことが必要です。

また、子育て支援を進める上では、子育て世代が精神的にも経済的にも安心して子どもを産み育てられ、子どもたちも笑顔で暮らせる、魅力ある環境の整備が重要です。また、核家族化や、地域社会の希薄化といった社会的な状況の中、子育てを家庭や社会で支え合う体制作りが必要とされています。子育てを家庭や社会で支えることは、子育て中の親の社会参加や生活と調和した多様な働き方にも寄与します。

さらに高齢社会における、健康寿命の延伸、社会参画の確保を図るため、現役世代から健康の増進に取り組み、高齢者になっても生きがいを持って、生涯に渡り活躍できる仕組みづくりを進めることが重要です。

② 次世代を担う人材の育成

これからの変化の激しい社会においては、自らの力で人生を切り拓き、たくましく生き抜いていく自立した子どもを育成することが重要です。そのためには、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、それらを活用して自ら考え、判断し、表現することにより問題を解決する「確かな学力」、自らを律しつつ、他者とも協調し、他者を思いやる心や感動する心などの「豊かな心」、たくましく生きていくための「健康・体力」といった「知・徳・体」をバランスよく育む教育を進める必要があります。

また、学校は将来を担う人材を育てる中核的な場所です。各学校が特色ある教育方針を掲げるとともに、学校・家庭・地域が連携・協力して協働により「地域とともにある学校づくり」を進める必要があります。

③ 人々の健康と安心な生活の確保

いつでも医療にかかれる体制は、健康な生活を支え、市民の安心の根幹となるものです。市民のニーズの高い高度医療や救急医療の充実を図り、近隣自治体との広域的な連携も含めて医療体制を整備する必要があります。健康寿命の延伸のため、医療・福祉・介護などにおける社会環境を整備するとともに、子どもから高齢者まで、全てのライフステージにおける心や体の健康づくりを進めることが必要です。また、適度な身体活動や運動は、生活習慣の予防やストレスの解消に効果があることから、スポーツ・レクリエーションへの参加のほか、自分にあった方法で体を動かし、運動する習慣が身につく様々な取り組みが必要となります。

様々な立場の人の生活の在り方に配慮し、あらゆる市民が健康的で安心した暮らしを確立するためには、社会全体で障害がある人の活躍を支えることや、引きこもりや自殺等を未然に防ぐといった対応が不可欠です。

④ 活力ある地域づくり

本市全体の豊かさと発展に向けて、各産業が成長し、活力ある地域をつくり出すことが求められます。本市の主要産業のひとつである農業においては、後継者や意欲ある農業者を確保し、支援していくことが重要です。工業においても、日本のものづくりと社会を支える産業の育成を進め、地域の経済の発展と雇用を確保する取り組みを進める必要があります。さらに人々のニーズや購買方法が多様化する現在、地域の特性を活かす魅力ある商業の振興を支援することもまちの活力にとって不可欠な要素です。まちの基盤となる道路・河川及び水路等と水道・下水道施設等が支障なく利用できるように、老朽化をはじめとした課題に万全の対応を取っておく必要があります。

また、まちなかは地域の歴史を支えてきた「顔」であり、快適な環境や**良好な景観を形成し**、居住者を呼び込む必要があります。そのためには、まちなかの拠点となる場所を、人々にとって魅力ある空間とすることが重要です。

⑤ 魅力発信の強化

本市には、中山道の最大の宿場町「本庄宿」としての繁栄や明治以降の蚕糸業の興隆など輝かしい歴史があります。また、本市北部では渡り鳥の飛来する利根川、中央を小山川が流れ、南部には陣見山などの500m級の山々の起伏が連なる山稜に抱かれた、水と緑の豊かな自然とふれあえる地域でもあります。

本市の総人口は平成12年の約82,670人をピークに減少傾向が続いており、これらの優れた歴史と自然を活かし、交流人口の拡大による地域の活性化を図ることが重要です。また、若い世代の転出超過が本市の人口減少の主要な要因となっていることから、人々の交流に留まらず、特に定住を進めることは、人口減少対策の第一歩といえます。そのためには、市内外の方々に、本市の魅力を効果的に発信することが重要です。

⑥ 環境に配慮した取り組み

自然環境やエネルギー分野への意識の高まり等を踏まえて、本市が持続可能な社会の実現を目指すには、環境保全の取り組みが重要です。本市は、南部の山間地域など総面積の約3分の1が豊かな森林で占められています。森林には**土砂災害の防止**や水源の涵養などの国土保全**機能**、地球温暖化防止などの地球環境保全**機能**、さらに**生物多様性保全機能**など様々な**機能があり**、これらの機能を維持し豊かな自然資源と良好な景観を守り続けることが求められます。

環境に与える負荷の軽減と**経済の持続的な成長を両立させるためには**、太陽光をはじめとする再生可能エネルギーの効果的な利活用や、**廃棄物の減量化と再資源化**を一層進めることによる**効率的な資源利用への取り組み**が重要です。

第1章 基本構想

⑦ 人権を尊重し、自ら取り組むまちづくり

女性、子ども、高齢者、同和問題、外国人等に対する人権問題が発生している現状を踏まえて、市民一人ひとりの尊厳が守られた社会を実現していくことが重要です。

また、少子高齢化や核家族化、単身世帯化が進む中、地域をはじめとする人と人とのつながりを育むことが重要です。そして、市と協働して自らまちづくりに取り組む、市民、自治会、ボランティア団体、NPO法人や企業等が、その特性を活かした役割を担い活躍できるように支援をしていくことが求められています。

⑧ より安全に暮らせるまちづくり

東日本大震災や熊本地震をはじめとする大規模地震や台風などによる豪雨、洪水などの自然災害が連続して発生しており、平成26年2月には本市においても大雪の被害が発生しました。また、本市では県内の人口当たりの交通事故発生割合が高く、また、自転車盗や高齢者を狙った特殊詐欺も増えており、安全で安心なまちの実現には多くの課題があります。安全・安心は市民の願いであり、災害対策や犯罪・交通事故の撲滅に努めなくてはなりません。

市民がより安全・安心に暮らせる環境をつくるため、災害などの危機管理体制を強化するとともに、市民の防災に対する意識を高めるなど、自助、共助、公助を着実に前進させることが求められています。また、交通安全の啓発や安全に配慮した交通環境の整備、多様化する様々な犯罪を未然に防ぐ取り組みを進めていく必要があります。

⑨ 時代の要請に即した行政経営

本市は市税収入の減少が見込まれ、地方交付税や交付金、臨時財政対策債等に頼らざるを得ない状況です。人口が減少する中、社会保障経費の増加や老朽化の進む公共施設等の維持や更新に対応するなど、将来にわたり持続可能なまちづくりを進めることが重要な課題となっています。

厳しい財政状況においても多様化・高度化する市民ニーズに的確に対応するため、積極的なICTの活用等による市民サービスの向上、効率的な行政経営が必要となります。インターネットでの各種申請の受付、図書の予約など、行政手続きのオンライン化の推進をはじめとして、一層の効率的で効果的な行政サービスの質の維持・向上に努めていかななくてはなりません。その際には、情報セキュリティ等に十分配慮し情報管理の徹底を行う一方、市民への説明責任を果たすことができるように行政の透明性の更なる確保も重要です。

1. まちづくりの基本理念

本庄市のまちづくりに関する基本的な考え方を、まちづくりの基本理念として決めました。まちづくりの基本理念は、「本庄市の将来像」を実現するための柱となる「政策大綱」を相互に調整し、まちづくり共通の考え方となるものです。

まちづくりの主要課題を踏まえ、本庄市のまちづくりの基本理念を次のとおり定めます。

① みんなで育む安心・共生のまちづくり

出会いの場の創出から雇用の確保、出産・子育て支援まで、総合的な少子化対策の取り組みを進め、家庭と社会でともに支え合い、安心して子どもを生み、楽しく魅力的な子育てができる環境を提供します。次世代を担う子どもたちが自立し、社会の様々な課題に対応できるように、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を進めます。地域の歴史と自然を活かし、地域とともにある学校づくりを進め、教育の質を向上させるとともに、学校・家庭・地域の連携を強化し、協働して子どもたちの豊かな成長を支えます。

将来を担う子どもたちのみならず、現役世代から高齢者まで、誰もが健康で、安心して過ごすことができるまちづくりを進めます。高齢社会を踏まえ、誰もが生きがいをもって、社会で活躍できる環境を実現します。そして、障害のあるなしにかかわらず全ての人が社会参加でき、悩んでいる人を理解し温かく支えられる安心に満たされた社会福祉の実現を目指します。

② 訪れたいくなる住み続けたいくなるまちづくり

多くの人々が訪れたいくなり、また、多くの若者が集い、住まうまちづくりを進めます。そのためには、地域経済と雇用を支える産業の誘致・強化と、農業の生産性の向上及び意欲ある農業者の確保を進めていきます。また、人々のニーズに応えた、魅力とにぎわいあふれる商業の発展を支援するとともに、対外的な発信力を強化して地域の歴史と自然を活かした観光を振興します。

本市に住まう市民が住み続けたいくなるまちを維持するために、日々の生活を支える快適・安全で美しい都市の整備と、地域社会の核となるまちなか再生を推進します。そして、良好な環境を次の世代に引き継いでいくために、資源やエネルギーの利活用を促進し、環境にやさしいまちづくりを進めます。

③ 市民と行政がともに創る安全のまちづくり

様々な文化、多世代の人々が盛んに交流し、互いに尊重するまちづくりを進めます。そのために、市民一人ひとりがつながり、お互いを支え、そして市民自ら活躍できるように支援を行っていきます。

行政が市民と協働の体制を構築しながら、災害に強く、犯罪や交通事故のない、誰にも優しい安全安心なまちをつくります。また、多様化する市民のニーズを的確に捉え、対応するために、情報セキュリティを確保した ICT 等を活用し、効率的で効果的な行政経営を進めます。行政経営に関して市民への十分な説明を果たすことができるようにわかりやすさと透明性を確保します。